



第4回 伊川谷小学校運営協議会だより

令和7年3月11日
神戸市立伊川谷小学校
学校運営協議会
会長 木南亮輔

2月27日（木曜日）に、令和6年度第4回伊川谷小学校運営協議会を行いましたので、協議内容等についてお知らせいたします。

今年度の学校評価について児童アンケートの結果、第三者評価

学校 概ね肯定的な回答データとなっているが、項目によってはネガティブな意見が増えているものもある。例えば、教室にいたくないと思うことはあるか？等の項目。学年が上がると否定的な意見の割合が多くなってきている。また、学習の内容がわかるかという項目も、3年生と4年生で「よくわかる」のパーセンテージがかわる。こうしたことから、学級での居場所づくりや学習内容の定着の必要性が見えてくる。

委員 ・ 児童の意見を正確に把握し、改善策を考えていくことは大切であると思う。

委員 ・ 家庭と学校の連携を強化していくことも大切だと思う。

学校 神戸市で進めている「じぶん学習」という取り組みがあるが、自主的に学習する習慣を身につけることの難しさを感じている。じぶん学習だけでなく、学習全般についてご意見を伺いたい。

委員 ・ 何を学べばいいのかわからない児童がいるのではないだろうか。家庭での学習支援を促進するとともに、学習のやり方を教えていく必要もあると思う。

委員 ・ 学習意欲を高めていくことも大切。家庭で子供を見ていても、がんばったことを認めていくと、次への活力になっているように感じる。できたことを認める、マイナスな言葉を使わない、こうしたことは家庭でも注意していきたい。

委員 ・ 算数をはじめ、他の科目が多少できていなくても、道徳心や倫理的な考え方ができることが重要だと思う。そうした、道徳心をやしなっていく学習をしていただきたい。グループワークなどを通じて、そうした心が養っていけないだろうか。そうした教育プログラムを学校でも計画していただきたい。

委員 ・ 登下校の見守りをしている中で、子供たちの挨拶やお礼など、意思表示のできる子供が増えてきていると感じている。学校だけでなく、ご家庭でも挨拶を心がけてもらえるとよい。

学校 児童のアンケートを見ても、3年生の学習内容の定着が4年生以降に影響していると考えられる。基礎的な学習を定着させていくこと、九九や漢字をしっかりと定着させていくこと、こうしたことを来年度心がけていきたいと思う。

委員 ・ どの学年になっても、つまずいた学習を取り返していくことは大切。九九なら九九、漢字なら漢字で、子供たちができるようになる効果的な学習方法を模索してほしい。

学校 不登校支援や問題行動、学校の情報発信についてはどうだろうか。

委員 ・ ゆ〜ルームでの支援をしていると、本当に個々の子が抱えている課題があることを痛感する。支援員の一言で子供に大きな影響を与えることもある。そうした責任の重さを感じている。
・ 登下校時の見守りの中でも、様々な子がいる。どこで学習をしていようが、多くの子が安心して過ごせるように学校は働きかけを続けてほしい。朝の見守りの中でも、ちょっとした声掛けがすごく大切だと感じている。
・ 今の時代、SNSを使わないようにすることは難しい。使うことは前提で、どのように使えばいいのか、そうした道徳観・倫理観を身につけていくことが、今の時代には求められていると思う。

- ・ 子供は心の中のストレスを吐き出すことで精神的な健康を保っている。学校生活でも家庭環境でも様々なストレスをかかえることがある。適切なサポートを考えていく必要がある。

教材費の見直しについて

学校 毎年、保護者から預かっている児童費の使用方法について検討をしている。保護者負担を少しでも減らすことができないか、本当に必要なものを購入するようにしているか。今年度も、年度末のこの時期に振り返りを行っている。

委員 ・ 校外学習などはどうなっているのか。

学校 物価の高騰だけでなく、バス代も高騰している。また、運転手不足に加え、来年度は大阪万博があるため、バスの確保もなかなか難しい状況がある。校外学習の機会を増やすことは、保護者負担を大きく増やすこととなり、現状ではできないが、子供たちにとって、有意義な校外学習になるように計画したい。

学校状況について

学校 年度末、来年度当初に関する予定をお伝えする。サポートルームの利用者も、年度当初に比べて数が増えてきた。支援員の方に本当に感謝している。問題行動でも SNS に関する事案が増えてきている。また、来年度学校の施設関連で、特別支援学級の改修、プールの改修、などを申請している。

委員 ・ コミュニケーションが苦手な子、視覚的認知が苦手な子、聴覚過敏の子・・・など。差別することなく、子供同士が、友達を認め、いろんな特性を持っている子がいることを許容するようになってほしい。

学校 今日の会議ででている、道徳観、倫理観をしっかり養っていききたい。

委員 ・ 朝の声掛けが子供の心情を引き出す大事な時間だと思っている。
・ 子供のストレスを緩和できるような温かい対応が必要なのだと思う。

学校 子供たちに寄り添う姿勢を持つこと。継続的な声掛けが心を開くきっかけにもなることを意識したい。

令和7年度の 学校運営方針について

学校 今年度の教育活動を振り返り、まず、学校が「笑顔あふれる学校」でなければ子供たちにとって魅力のある学校とは言えないと感じた。

そこで、学校ランドデザインを見直し、学校目標を「自ら学び 共に生きる 笑顔あふれる 伊川の子」とリニューアルしたいと考えている。目指す子供の姿のなかに、いきいきと活動に取り組む姿や、自分で考える姿、友達との和を大切にする姿を具体的に表現している。また、子供たちがそうした姿になるために、あるべき学校像をあげるようにした。内容など承認いただけるだろうか。

委員 ・ 承認する

学校 来年度の学校運営協議会の日程、学校教育行事予定について再度お知らせする。

※ **委員** 委員の意見

学校 学校からの説明